

関連事業②

タラセア・トーク & コンサート ～フラメンコギターとギタルパの調べ～

1998年にスペインで発刊された「フラメンコ大百科事典」に日本を代表するフラメンコギタリストとして紹介された吉川二郎と、2重奏パートナーとしてともに舞台に立つ野口久子が白鷹町にスペインの風を届けます。

出演 吉川二郎(ギター、ギタルパ)／野口久子(ギター共演)
星野尚(タラセア作家)

日時 2017年9月24日<日> 14:00開演(13:30開場)

会場 白鷹町文化交流センター あゆむAYu:M (ホール)

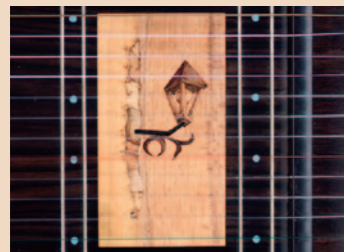
チケット 1,000円
※全席自由

あゆむ年間パスポート提示で
当日500円返金

- チケット取り扱い
- ・あゆむ ☎0238-85-9071
 - ・白鷹町中央公民館 ☎0238-85-6143
 - ・音楽アズム館長井店 ☎0238-84-3111
 - ・八文字屋長井店 ☎0238-83-1320
 - ・富岡本店(山形市) ☎023-641-0644



▲ギタルパ／製作・宇野充



▲指板部／星野尚氏の絵画「街灯」

ギタルパ (guitarpa) は吉川二郎氏の発案によるギター (guitarra) とハーブ (arpa) が合体したまったく新しい楽器で、ギターの手軽さとハーブの優雅な響きを持っています。大きさはギターの半分以下ですが、音域はギターよりも多く4オクターブ以上あります。簡単な技術で弾け、特別な知識がなくてもすぐにメロディーが弾けるほど易しい楽器ですが、ギターの技術を応用すれば独奏楽器としてかなり高度な演奏もできます。

オリジナルの独奏曲を作曲し演奏してきた吉川二郎氏ですが、右指の調子が思わしくなかった時期に、B5版ほどの小さな板に6本の弦を張っただけの右手だけの練習器を作って指の鍛錬に使っていたところ、音楽を奏でてみると、糸巻きを付けて弦の数を増やしていくとハーブのようなものになりました。右手だけで曲を弾こうとすると、手の広げられる大きさには限界があり、音域が狭くて豊かな響きが得られない。なんとかならないものかと考えているうちに、ギターのフレットを応用することを思いつきました。もともと木工細工が好きだった為、10台以上の試作を重ね、19弦の楽器が出来上がったのです。

特許第3385518号《ギタルパ》は登録商標です



吉川二郎

1951年、大阪生れ。関西学院大学卒。1977年、スペインに渡りコンサートフラメンコギターの巨匠マヌエル・カーノに師事。1988年、全曲オリジナルのフラメンコ曲を収録のCDアルバム『迷路』を発表。以後、2015年発売の「麗しのグラナダ」まで11枚のアルバムを発売。積極的な創作演奏活動を続け、1998年にスペインで発刊された「フラメンコ大百科事典」に日本を代表するフラメンコギタリストとして紹介されている。

1994年にフレット付き卓上ハーブ「ギタルパ」を発案、楽器の研究を重ね、2010年から演奏活動を開始。コンサートフラメンコギターと共に、ギタルパの音楽と楽器の普及を目指す。2003年11月、兵庫県川西市市民文化賞受賞。2004年から毎年、サラマンカ、グラナダ、コルドバ、アルメリア、トレドなど、スペイン各地でコンサート活動を続けている。



野口久子

尼崎市出身。関西学院大学卒。1986年から吉川二郎に師事。スペインでホセ・マヌエル・カーノにレッスンを受ける。1998年から吉川二郎の2重奏のパートナーとして活躍。



星野尚

—スペインの伝統工芸—
タラセア
木の絵画

驚がくの
超微細技巧による
独創的絵画表現!

「サン・マテオ教会」550mm×470mm / 2012年

2017年9月2日<土>—10月22日<日> 時間 9:00—19:00

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

観覧料 一般個人 500円 (あゆむパスポート適用事業)
大学生・高校生 200円
中学生以下 無料
団体 400円(15人以上)

後援 スペイン大使館



会場・主催・問合せ

白鷹町文化交流センター あゆむAYu:M (ギャラリー)

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地
TEL.0238-85-9071

星野 尚 タラセア一木の絵画

世界でも数少ない、タラセア (TARACEA) 技術保持者「星野 尚」の作品をご紹介します。

タラセア (TARACEA) は、中世ヨーロッパで発達し、現在もスペインに受け継がれている伝統的な装飾藝術です。厚さ 1 cm ほどにカットした天然木を必要な形に切り取り、組み合わせたり、埋め込んだり、嵌め込んだりする「象嵌」の手法で、幾何学模様や風景画を創り出す技法です。ヨーロッパの木のアート技術に、アラブやアフリカの技法や美的感覚が独自に混ざり合うことで発達してきました。現在も、スペインのグラナダのアルハンブラ宮殿やエル・エスコリアル王宮など、各地に木工象嵌を駆使した建造物が存在していますが、ヨーロッパの国々でも、技術を受け継ぐ作家は稀になっています。星野は、スペインで学んだ伝統的な手法に、長年にわたり独自の感性と工夫を加え、「星野 尚のタラセア」を創り出してきました。約 80 種類の木々の、千差万別の文様や色合いといった性格を見極め、調和させ、深みのある重厚な作品を作り上げます。



「蟹」401mm×830mm / 2006年



「ベンチ」530mm×710mm / 2004年



「野菜」425mm×525mm / 2001年



「中庭(修道院)」585mm×465mm / 2012年



「公園」320mm×1380mm / 2000年

タラセアの制作工程



1. チークや桜、縞黒檀、ケヤキ、ブナなど約 80 種類の和洋材から木の種類を選ぶ。



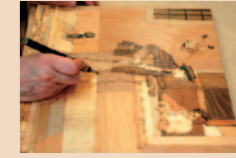
2. 糸鋸で木を切り、色の違う木々を寄せ集めたパーツを作る。



3. 各パーツを埋め込む。



4. カンナをかけ光沢を出し、最終の仕上げをする。



5. 焼きゴテで輪郭や影を描き完成。



星野 尚 Takashi Hoshino

- 1955年 兵庫県に生まれる
- 1981年 スペイン コルドバ国立美術専門学校卒
- 1989年 名古屋 名古屋世界デザイン展に招待出展
- 1991年 バルセロナ ホテル・マジェスティックに招待出展
- 1992年 大阪 大阪国際交流センターでスペイン個展記念展を開催
マドリット ホテル・エウロビルディング 22、
バルセロナ ギャラリー・アルミラル 1733 にて個展
セビージャ万博 富士通館に出展
- 1993年 兵庫 尼崎市市民芸術奨励賞を受賞
- 1998年 東京 和光銀座店で個展
- 2000年 大阪 リーガロイヤルホテルにて『タラセア二十年の歩み』を開催
- 2001年 兵庫 伊丹市立芸術家協会 新人賞受賞
- 2009年 バルセロナ タラセア三十周年記念展 開催
- 2011年 兵庫 尼信博物館にて『星野 尚 タラセア三十年の歩み』開催
- 2013年 スペイン コルドバ県ルセナ市主催でサンタ・アナ宮殿にて個展
- 2014年 兵庫 県立三木山森林公園内 森の風美術館にてタラセアの世界展開催
- 2015年 東京 平成記念美術館ギャラリーにて制作活動 35 年目の記念の個展を開催
大阪 阪急百貨店 梅田本店 美術画廊にて同展開催
- 2016年 大阪 あべのハルカス近鉄百貨店 本館美術ギャラリーにて個展



関連事業①

ギャラリートーク

＜スライドによる知られざるスペインの魅力発見＞

日 時 2017年9月2日<土> 14:00 開始
会 場 文化伝承室及びギャラリー
講 師 星野 尚
※お申込不要。ただし入場には当日の観覧券が必要。



■お車でお越しの場合 / 山形市より国道 348 号線で約 35 分
■電車でお越しの場合 / 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線 [荒砥行き] で「四季の郷駅」下車 (赤湯駅から約 50 分) 徒歩約 4 分
お問合せ = TEL.0238-85-9071